



どんな学校？

課程：全日制 工業科

「地域産業を担う人材の育成」を目指し、県西地域唯一の工業高校として、機械・建設・電気・デザインに関する専門教育を充実させることに加えて、生徒一人ひとりの幅広い進路実現に向けた指導も進めています。

近隣の自治会や小田原市などと連携した「ものづくり活動」を行い、歴史的建造物の維持・保全活動や清掃車のデザイン塗装などを生徒が担当して、取り組んでいます。



どんなメンバー？

学校

全日制デザイン科
有志生徒35名

地域

小田原市役所
小田原市制80周年記念
事業実行委員会



どんな団体？

小田原市制80周年記念事業では…

- ▶小田原市制80周年記念事業パネル展
- ▶小田原市制80周年記念動画
- ▶未来に残したい小田原の「景色」ランキング結果発表！
- ▶小田原市制80周年記念被表彰者決定

…などに取り組んでいます。
(小田原市HPより)



はじめたきっかけは？

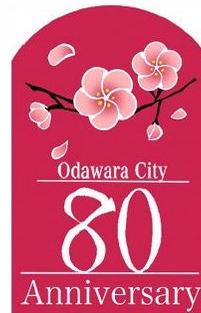
本校デザイン科では、学校の特色として、工業高校の専門性を活かし、これまで積極的にものづくり活動を通して地域連携に取り組んできました。

そんな本校の活動実績に、興味を持った小田原市から、令和2年の市制施行80周年の記念事業のひとつであるロゴマークの制作依頼をいただきました。

テーマは『市制施行80周年を記念して、愛すべきふるさと・小田原の未来をイメージしたロゴマーク』です。

生徒の学びを地域へ発信する絶好の機会と感じ、有志生徒を募り、ロゴマーク制作に取り組むことになりました。

(採用されたロゴマークはこちら！)



神奈川県教育委員会教育局
指導部高校教育課高校教育企画室

この冊子はホームページにも記載しています →



すくコミ!

～コミュニティスクール事例集～



学校名 小田原城北工業高等学校

活動名 小田原市制80周年
ロゴマーク制作

取組紹介

取組内容

| 時数 | 学習内容 |
|----|--------------|
| 1 | 依頼を受け、有志を募る |
| 2 | アイデアを出し合って制作 |
| 3 | デザイン完成 |
| 4 | 今後の取組模索 |

1 HOP

2020年4月

有志メンバー35名で活動開始。多くの人に受け入れやすいものを作ることを大事にしなが、彩りも鮮やかで目を引くデザインになるように制作することに。

先生の思い

地域のニーズに応じて制作を行うことは、生徒たちのデザイン力を伸ばす機会になるはずだ。

2 STEP

2020年5月～

小田原の名物や特色を調べ、その特徴をどのようにデザインに落とし込むのかを検討。色やタッチもこだわり、時間をかけてアイデアを出し合った。

3 JUMP

2020年8月

複数の案から「梅の花をモチーフにしたい」というコンセプトを最初に決め、ロゴマークが完成。市の花であり特産品でもある梅の花になじむような紅色でレトロ感を出しつつも枝ぶりで生き生きとした感じを表現。小田原が80周年を超えてより長く続くよう、次の世代へ続く扉という意味を込めた形に。



受賞式

4 FLY

今回の取組も含めて、地域連携の活動は生徒たちの学習に大きく影響を与えることを実感。新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の方々との連携の場がこれまでのように設定できず、もどかしい時もあったが、今回の取組を通じてリモート会議などの新しい手段を模索でき、今後の地域との関わり方についてヒントになった。

生徒の感想

地元小田原の節目の事業に携わるという貴重な経験ができ、とてもありがたく思う。これを機に、少しでも多くの人が小田原に関心を持ってもらえたら嬉しい。

地域の感想

以前から学校をあげて地域連携事業の活動を推進している高校ということで注目していました。生徒達は専門高校ならではの能力を発揮して、事業を盛り上げてくれました。